

**三条市子ども・若者総合サポートシステム  
平成 29 年度活動実績・平成 30 年度活動計画  
【若 者 支 援 部 会】**

**《平成 29 年度活動実績》**

**1 若者支援部会 対象者の把握状況と対応**

(1) 把握人数（平成 30 年 3 月末現在）

16 人

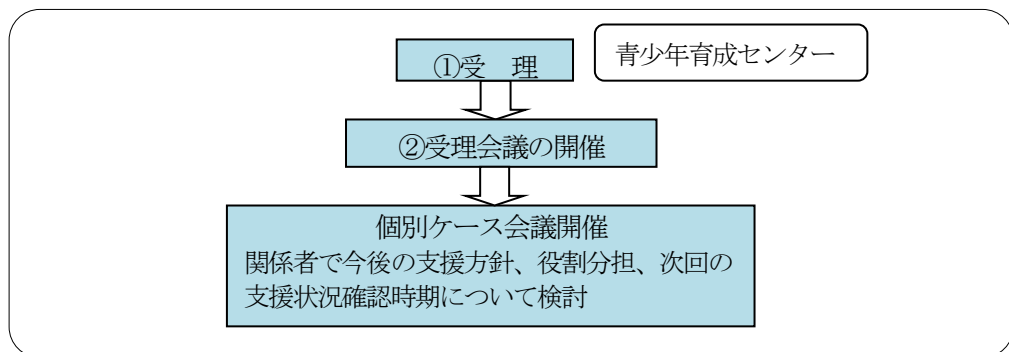
＜年齢別の把握人数＞

年齢	人数（人）
15 歳～19 歳	7
20 歳～24 歳	8
25 歳～29 歳	1

(2) 「個人情報の取扱いに関する同意書」提出人数

16 人

(3) 受理後の対応



**2 若者支援部会 会議開催状況**

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参 加 機関数
実務者会議	第 1 回	2 月 23 日	三条ものづくり学校	活動報告 意見交換	15 機関

**3 周知活動**

市内中学校 3 年生の保護者に対する総合サポートシステムについての周知を実施

#### 4 研修会・講演会

子ども・若者支援に関わる青少年相談業務関係者等の資質向上を図るため、研修会を開催した。

研修会名	回	月日	場所	内容	参加人数
実務者等研修会	第1回	2月23日	三条ものづくり学校	テーマ：不登校・ひきこもりについて 講師：新潟青陵大学 看護学部 教授 斎藤 まさ子 氏	15人

#### 5 成果、課題等

成果	課題等
<ul style="list-style-type: none"><li>・実務者等研修会において、講師から引きこもりについての研究事例やアプローチ方法についての説明があり、有意義な研修となった。</li><li>・同じ三条ものづくり学校にある若者サポートステーションと連携し、相談体制の強化を図った。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・仕事の確保や創出、広報活動の強化を図る必要がある。</li><li>・義務教育以後の中退やひきこもりを防ぐためにも、引き続き、本システムについて、保護者、子ども、高校等の関係者への更なる周知を図る必要がある。</li><li>・若者サポートステーション、関係機関及び他部会と連携し、相談者の発掘力・問題の解決力を強化する必要がある。</li></ul>

## 《平成 30 年度活動計画》

### 1 会議開催予定

会議名	回	月	場 所	内 容 等
実務者 会 議	第1回	11月	青少年育成 センター	青少年相談業務関係者等研修会 内容：不登校、ひきこもりについて
	第2回	2月	青少年育成 センター	意見交換会 内容：不登校とひきこもりの現状及び対 処法について など
個別ケース 検討会議		随時		<ul style="list-style-type: none"><li>・ケースの情報共有及び進行管理</li><li>・既存登録者の現状把握、今後の支援方 針及び役割分担等の明確化</li><li>・他部会との連携、情報共有</li></ul>

### 2 周知活動

- ・市内中学校3年生及び義務教育学校9年生の保護者に対する総合サポートシステムについての周知
- ・市内及び近接地の高等学校等の生徒、保護者に対する総合サポートシステムについての周知